

センター長ごあいさつ

情報メディア教育研究センターは、広島大学の重要な情報基盤を支える学内共同教育研究施設です。全学の構成員に最適な情報環境を提供するため、高機能かつ高性能な「技術」を追求するだけでなく、情報セキュリティポリシーなどの適切な「規則・基準」に基づいて運用・管理し、さらに安全かつ効率的に利用するための「教育」を提供することに重点を置いています。当センターが有する人材や環境を活かし、これらの要素をバランスよく実施し機能させるよう努めています。

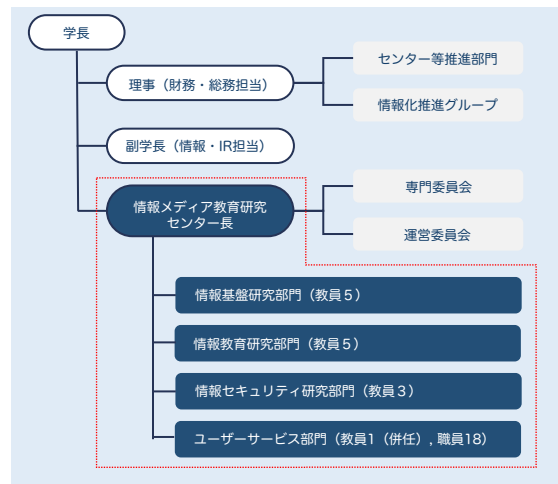


情報メディア教育研究センター長
西村 浩二

センター概要

情報メディア教育研究センターは、全学の共同利用施設として本学の情報基盤を支えること、情報メディアを活用した教育の企画・立案・実施の支援や業務の支援、情報技術を安全に活用するための研究開発を推進することを目的として設置されています。キャンパスネットワークの企画・設計・導入、本学の全構成員が使用する電子メールサービスや教育用端末などの企画・更新等を担当し、一括して管理運用を行っています。また構成員に対する情報セキュリティ教育などセキュリティの向上に繋がる活動を行っています。情報化により急速に変化する社会に対応・貢献するため、「情報」と「メディア」の利活用に関する研究を推進して、広島大学の教育・研究環境を充実していきます。

組織図



アクセスマップ・所在地

アクセスマップ (東広島地区)



本館
〒739-8411 広島県東広島市鏡山1-4-2
TEL 082-424-6252, FAX 082-422-7043

東分室
〒739-8512 広島県東広島市鏡山1-4-5
東図書館2階
TEL 082-424-6325

アクセスマップ (霞地区)



霞分室
〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3
医学部基礎講義棟1階
TEL 082-257-1580

広島大学
情報メディア教育研究センター

URL <https://www.media.hiroshima-u.ac.jp>



広島大学

情報メディア教育研究センター

Information Media Center
Hiroshima University



広島大学

2020年9月版



主要サービス紹介



詳細はウェブサイトへ

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services>

全学共通基盤サービス

キャンパスネットワーク HINET



情報メディア教育研究センターによる全学一元管理により、部局や研究室ごとに個別のファイアウォール機能を提供し、安全で自由度の高いネットワークを組むことができる全学共通情報基盤です。遠隔地にある3つのキャンパス（東広島、霞、東千田）および附属学校や東京オフィスなど広島大学のどこでも同じように利用できます。

広大メール（全学電子メールサービス）



マイクロソフト社のクラウドサービス Microsoft365を広島大学の認証基盤と連携させることにより、広島大学の全構成員（教職員・学生など）を対象にした電子メールサービス（広大メール）や、クラウドストレージ

でのファイルの保管（OneDrive for Business）、メッセージングやビデオ会議（Teams）などのサービスを提供しています。

教育・研究支援サービス

オンライン学習支援システム（Bb9）



授業のウェブページ構築を支援するため、コース管理システム「Blackboard Learn」を導入し、「授業支援システムBb9」として全学にサービス提供しています。Bb9は、資料配布やオンラインテスト、課題管理、グループ学習補助など、授業を数多くの側面から支援する機能を備えており、授業だけではなく各種講習会、研修会のサポートや、学内向けのeラーニング教材の提供など、学内でさまざまな活用されています。また、教職員を対象に、教材作成を行う際に必要な著作権処理支援や動画作成もサービスとして提供しています。

HPCクラウド・アプリケーションサービス



九州大学情報基盤研究開発センター「スーパーコンピュータシステムITO」の包括契約を結び、学内構成員に対して研究教育用計算機システムを提供しています。一部のソフトウェアで、学内の教職員が個別に購入や手元のパソコンにインストールしなくても利用できるように、アプリケーションのウェブアクセスによるプリポスト利用環境も提供しています。

HINET Wi-Fi（情報コンセント）

講義室、会議室、図書館、福祉施設など学内の共用スペースを中心にアクセスポイントの整備運用を行っています。2017年4月からはすべての講義室で利用可能になりました。広島大学全構成員の無線LAN利用環境を提供するほか、eduroam対応によるWi-Fiアクセスを提供しています。主要キャリアによるWi-Fiサービスの乗り入れにも対応しています。



情報セキュリティマネジメントシステム認証取得

2015年3月に情報セキュリティマネジメント（ISMS）の認証を取得しました。2017年3月には、ISO/IEC 27017:2015（JIS Q 27017:2016）に基づくISMSクラウドセキュリティ認証を国内の学術機関で初めて取得しました。全学共通基盤を支えるセンターとして、日々の運用業務で発生する利用者に関する情報の機密性・完全性・可用性を管理し、セキュリティレベルの維持に努めています。



教育用情報端末・オープンスペース

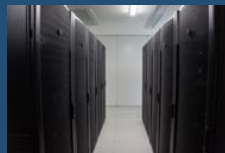
授業や自学自習に利用できる教育用情報端末です。起動時に、Windows（Windows 10 Education）かLinux（Ubuntu 18.04 LTS）いずれかの利用するOSを指定することができます。オンデマンドプリントシステム（カラー、モノクロ）を導入しており、教育用情報端末や持ち込みパソコンから印刷を行うと、学内各所に設置されているオンデマンドプリンタで受け取ることができます。

また、自主学習やグループ学習の場として活用できるオープンスペースも整備しています。



ホスティングサービス

研究室や部局など、学内の組織単位でWebサーバなどを運用するための機能を利用できます。Webサーバ、DBサーバ、DNSサーバ、SSHサーバ、メール（転送）の機能を提供しており、主にCMS（コンテンツマネジメントシステム）を用いた部局・研究室ホームページの運用に使われています。



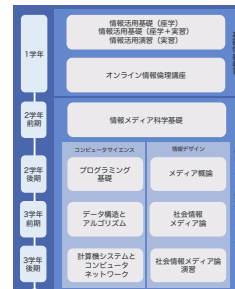
メディアセンターでの取り組み

情報教育

基礎情報教育・特定プログラム

1997年から教養教育として基礎情報教育を実施しています。情報メディア教育研究センターで企画、運営している「情報活用基礎」では、eラーニングと協同学習による先進的教授法を導入し、また、情報学分野の参照基準に基づいた情報教育を実施しています。

また、2007年度より情報メディアを専門的に取り扱う「情報メディア教育特定プログラム」を、また2020年度より情報科学部と合同で高度なICTスキルを学ぶ「基本情報処理特定プログラム」開設しています。



情報セキュリティ・コンプライアンス教育

2011年度より全構成員を対象に「情報セキュリティ・コンプライアンス教育」を行っています。在籍1年目の構成員は、座学形式の「フレッシュマン講習」により基礎知識を学んだ後、オンライン形式の「フォロアアップ講習」で知識を更新し、「確認テスト」で理解度を確認します。2年目以降の構成員は、過去1年の行動を振り返る「自己点検テスト」から始めます。



情報化支援

広島大学クラウドサービス利用ガイドライン

部局等が法人文書の保存場所としてクラウドサービスを利用する際、その重要度に基づいて本学の情報セキュリティポリシーとの整合性を容易に確認可能な補助資料として「クラウドサービス利用ガイドライン・チェックリスト」策定し、大学のクラウド化の推進を支えています。

ノートパソコン必携化

広島大学では2015年度よりノートパソコン必携化を行っています。必携化に伴い、すべての講義室で利用可能な無線LAN環境を拡大し、授業等での活用を支えています。設備面だけでなく、入学時の初期講習会のコンテンツ作成・実施やより高度な活用のための講習会（F3S, First 3 Steps）を担当し、全学生に対して入学直後から活用するための諸活動を行っています。

セキュリティ維持・CSIRT活動

全学的な情報セキュリティの維持及び向上に関する組織として、情報セキュリティ推進機構（CSIRT）を設置しています。コンピュータセキュリティにかかるインシデント対応チームとしての活動のみならず、構成員を対象としたセキュリティ講習会やセキュリティ訓練の企画・実施も行っています。